

(株) 番匠本店

番匠本店が北陸新幹線開業に合わせて開発した「福いなり」と「三種盛り北国かに寿し」は福井市で



県食材使い 駅弁2種

福井の「番匠」開発、販売へ

北陸新幹線の開業に「福いなり」は、ご合わせ、車内や福井駅「飯の具に黒ごま、へし」などで駅弁を販売する。福井梅、若狭牛の「番匠本店」(福井市高木中央三)は福井の食材を使った駅弁二種を開発した。

高木中央三)は福井の食材を使った駅弁二種を開発した。

駅弁は「三種盛り北国かに寿し」(消費税込み千二百五十円)と「福いなり」(同七百八十円)。かに寿しは酢飯の上にベニスワイガニのほぐし身、ズウニ、脚肉の三種類を乗せた。包装紙には北陸新幹線の車両と北陸地方の地図を描い

だ。
番匠本店の担当者は「駅弁で福井の味を知ってもらい、関東のお客さんに金沢から足を延ばしてもらおうきっかけになればうれし」と期待している。
(大山弘)